

2019
6

かながわの交通

交通安全年間スローガン受賞作品（警察庁長官賞）
～こども部門～ 中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの

登下校 いつもの道こそ 要注意



春の全国交通安全運動出発式

(横浜市中区)



道路横断には気をつけて！

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵！ 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう！

**歩行者
事故
多発！**

◎県内の交通事故発生概況(令和元年5月末現在) ◎県人口・運転免許人口

区分 年別	発生件数	死 者 数	傷 者 数
令和元年	9,531	58	11,100
平成30年	10,771	55	12,768
増 減 数	-1,240	+3	-1,668
増 減 率	-11.5	+5.5	-13.1

	総 数	男	女
県 人 口	9,197,925	4,585,659	4,612,266
免 許 人 口	5,654,568	3,228,198	2,426,370
割 合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は令和元年5月1日、免許人口は平成31年4月末)

関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名表彰

交通安全功労者、優良交通安全協会、交通安全協会優良職員に対する関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名の表彰式が5月15日(水)埼玉県浦和市内で行われました。
本県の受賞者(団体)は次のとおりです。 (敬称略)

受賞おめでとうございます

● 交通安全功労者 (関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名表彰)

近澤義昭(加賀町) 北川剛司(伊勢佐木) 筒井恭男(神奈川) 内山多利次(青葉) 角田 昇(都筑)
香山正孝(川崎臨港) 横溝真司(高津) 山田喜八郎(宮前) 元木正巳(多摩) 高橋涉一(横須賀)
高橋和人(逗子市) 市川協子(藤沢市) 小山吉保(藤沢北) 内田利幸、上田和夫(平塚市)
小川芳明(大磯地区) 佐野絢一、小清水五男(秦野市) 遠藤 豊、金子明男(厚木警察署管内)
比留川政彦(大和綾瀬) 平井 昇(海老名市) 石田健二(相模原) 市川 功(相模原南) 小島信彦(津久井)
※配偶者には関東交通安全協会連合会長から感謝状が贈呈されました。

● 優良交通安全協会 (関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名表彰)

- 戸部交通安全協会(会長 三石孝司)
- 鶴見交通安全協会(会長 堀晃一)
- (一社)川崎臨港交通安全協会(会長 大川原久)
- (一財)横須賀交通安全協会(会長 中村昌弘)



● 交通安全協会優良職員 (関東管区警察局長・ 関東交通安全協会連合会会長連名表彰)

内田直美(旭) 鳴原義弘(都筑) 杉山里沙(藤沢市)

九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間の結果

令和元年5月1日(水)から31日(金)までの1ヶ月間、「九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間」を実施しました。

月間中、今年度「自転車交通事故多発地域」に指定された県内13市区町等各地区では、マナーアップキャンペーンやチリリンクスクールを開催するとともに、「自転車運転者講習」の受講対象となる危険行為について周知しました。

また「スマホを見ながらの運転」や「危険な歩道通行」など、自転車利用者の交通マナーが低下していることから、高校生などに参加を呼びかけて高校の正門や自転車通行の多い街頭においてチラシ等を配布しながら広報啓発活動を推進しました。



自転車マナーアップ キャンペーン



(相模原南交通安全協会)

(磯子交通安全協会)

■ 県内の自転車交通事故発生概況 (5月末)

	自 転 車 事 故		
	発生件数	死者数	負傷者数
令和元年	2,208件	6人	2,120人
平成30年	2,495件	7人	2,430人
増減数(率)	-287件(-11.5%)	-1人(-14.3%)	-310人(-12.8%)
構成率	23.2%	10.3%	19.1%

※ 構成率は、令和元年交通事故累計(概数)に占める自転車事故の割合を示す。

「春の全国交通安全運動」実施結果

春の全国交通安全運動が5月11日(土)から20日(月)までの10日間行われました。各地区交通安全協会では地元警察署等と連携し街頭キャンペーン等において交通事故防止を呼びかけました。(巻末参照)

また、5月13日(月)には神奈川県警察主催による「春の全国交通安全運動出発式」が横浜赤レンガパークで行われ、その後、同会場において「交通安全キャンペーン」を開催し、児童の交通安全教室、県警音楽隊等の演奏の他、当協会提供による交通安全啓発物の配布など広報啓発活動を展開しました。

運動期間中の交通事故の発生状況については、交通事故発生件数及び負傷者数は前年同期間と比べて減少しましたが、死者数は4人(前年同期比+2)でした。

子どもと高齢者の交通事故は減少しました。



◇ 県内の交通事故発生概況

区分	発生件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
本年	549 (55)	4 (0)	624 (56)
前年同期比	-174 (-10)	+2 (±0)	-223 (-17)
増減数(率)	-24.1 (-15.4)	+100 (±0)	-26.3 (-23.3)

※()内は、子どもの交通事故

◎ 「交通事故死ゼロを目指す日(5/20)」の交通死亡事故

- ・神奈川県 2件2人
- ・全国 8件8人

○ 全国の交通事故死者数、ワースト順位

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	全 国
都道府県	北海道	神奈川	愛知	鹿児島	新潟	岐阜	大阪	兵庫	岩手	茨城	栃木	三重	岡山	徳島	福岡						
死者数	5	4	4	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	56		
前年同期比	-4	+2	-2	+4	-2	±0	-4	+1	+1	±0	+1	+2	+1	+2	-4	-29					

～平成30年度事業・決算報告～

5月23日(水)、県協会会館において第27回理事会を開催しました。午前に正副会長会議を開催し、午後1時から、理事、監事20名が出席する中で、理事会を開催し、「平成30年度神奈川県交通安全協会事業報告」、「平成30年度神奈川県交通安全協会決算報告」等について審議され、いずれも原案どおり承認されました。



「第50回 二輪車安全運転神奈川県大会」開催結果

5月25日(土)神奈川県警察運転免許センターで「第50回二輪車安全運転神奈川県大会」を開催しました。

開会式では、本大会 菅原副会長、県警察本部 中崎交通部長の挨拶、主任審判員による競技説明に続いて、選手を代表してBクラスに参加する佐藤正章選手が「日頃の安全運転技術を発揮します」などと選手宣誓を行った後、A、B、スクーターの各クラス別に分かれて、法規履行走行とコーナーリングやスラロームなどを課題とする技能走行を競いました。



各選手は、より上位入賞を目指して練習してきた運転技術を披露し、家族や友人の声援に応えていました。

競技の結果、各クラス優勝者の中で最高成績を収めた個人総合優勝者には、Bクラス山口佑一選手が輝きました。

各クラスごとの入賞者は次のとおりです。

(敬称略)

★ 個人総合優勝 山口佑一

● Aクラス

(51cc以上 400cc以下)

- ・優勝 藤井峰夫
- ・第2位 岩渕孝寛
- ・第3位 中島健三郎

● Bクラス

(401cc以上)

- ・優勝 山口佑一
- ・第2位 戸賀瀬伸之
- ・第3位 佐藤正章

● スクータークラス

(51cc以上 250cc以下)

- ・優勝 加藤由貴子
- ・第2位 長塚伶也
- ・第3位 濱原和明



(右からA、B、スクータークラスの優勝者)

優良二輪車安全運転指導員表彰

第50回二輪車安全運転神奈川県大会の当日、開会式の前に、長年にわたり二輪車安全運転の指導員として、二輪車の交通事故防止に貢献された二輪車安全運転特別指導員の杉山盛二さん、野曾原雅彦さん(写真)に、(一財)全日本交通安全協会からの楯と記念品、神奈川県二輪車普及安全協会からの記念品が贈られました。



二輪車用工アバッグ体験等

県内の交通死亡事故の特徴として、二輪車乗車中の死亡事故が多く発生していることから、大会当日、(一社)日本自動車連盟神奈川支部の協力により、会場の一角に交通安全コーナーを設け、運転適性検査、二輪車用工アバッグや二輪車の搬送実演などを行い、多発する二輪車の交通事故防止を呼びかけました。



(交通安全コーナー)

神奈川県自転車条例を制定

乗る人みんな 保険に入ろう！

県内では自転車と歩行者の関係する交通事故が増加しており、重大な事故も発生しています。また、全国では自転車事故の加害者に対し高額な損害賠償を請求される事例もありました。

神奈川県は、歩行者、自転車および自動車等が共に安全に通行し、安心して暮らすことができる地域社会を実現するため、自転車損害賠償責任保険等の加入義務を柱とした「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を制定しました。

※条例の施行は4月から、保険は10月から加入義務化

自転車事故の高額損害賠償の判決事例

約 9,500 万円

(平成 25 年 7 月神戸地方裁判所)

小学生が歩行中の女性と衝突し、女性の意識が戻らない状態となった。監督責任を問われた母親に損害賠償が命じられた。



※事業者も、その事業活動の用に供する自転車の利用に係る自転車損害賠償保険等に加入しなければなりません。

新任事務長紹介 ～ よろしくお願ひします～

山手交通安全協会 畑 好幸 事務長

昨年10月から山手交通安全協会の事務長として勤務しております畠と申します。生まれも育ちも「鎌倉」です、小・中・高ともに鎌倉市から一歩も出ていないので世間知らず、そして“甘ちゃん”でした。

この“甘ちゃん”を変えてくれたのが神奈川県警察です、警察に入ってからはかなり鍛えられ?一端の大人になったと感じています。

しかし、生まれつきの楽観的な、そしてノホホンとした性格は今も変わらず、たぶん周りの人たちをヤキモキさせているのではないでしょうか。

警察では、大半を交通関係の業務に携わり、その経験から退職後は神奈川県交通安全協会にお世話になりました。

ちょうど第二の人生を終えたころです、知人から事務長のお話をいただきましたが、警察での交通業務が長かったからといって「事務長職」がすぐ務まるものではありません。

「山手」は18年前の勤務地で頭に浮かんだのは、こまめに働く当時のS事務長の姿でした。

私自身、“俺はあんなに動けるかなあ?”と不安になりましたが、知人の心強い後押しもあり、お世話になった山手にご恩返しができれば!との思いで決心しました。

18年前と変わらず町内会、自治会の方々が非常に協力的であり、特に各季の安全運動には率先して活動していただいてます。

この雰囲気を変えることなく、私も地域の皆様、そして山手交通安全協会の方々と一緒に、山手地区の交通死亡事故ゼロをめざし、交通事故が1件でも少なくなるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



交通事故の悲劇に学ぶ⑦〇

●「取り返すことの出来ない笑顔」 運送業(42歳)

私は菓子製品を配送する2tトラックの運転手をしていました。配送を終えると、翌日に配送する荷物を積みに戻ります。配送コースは、埼玉県から神奈川県の相模原・綾瀬方面を行くコースでした。

そもそも私が運転手になる事に母は反対をしていました。なぜかと言うと、「お前がもしも、万が一の事になったら責任が取れないので、運転手はやらないで欲しい」と言われていました。でも、転職をしたばかりで、就職先もすぐには見つからないと思ったため、運転手の仕事を続けていました。

しかし、勤めてみると、時間に追われる事に気付きました。配送時間に間に合わなければ、会社にも配送先にまで迷惑を掛けてしまうため、時間と焦りの中で配送をしていました。

今回の事故の前に、自損事故を度々起こしていました。焦りと気持ちの余裕のなさに起きた事故だったのかも知れません。度重なる事故で、私は、運転が向いていないのではと思うようになりました。実際に、市原刑務所で受けた適性検査でも「不適」と判定されました。私自身、母親の言っていた事が本当に起るのではと思い、辞めようと考えるようになってきていました。

平成26年のある日に事故が起きたのです。その月の末日で辞めようと考えていた矢先の出来事でした。いつもは昼食後に1時間程度の仮眠を取るのですが、事故当日は、配送を終えた時間が午後0時30分を過ぎていたので、仮眠もせず、昼食後すぐにトラックで翌日の荷物を積むために出発しました。出発後、眼気などは全くなかったのですが、国道を抜けて、環状8号線を練馬方面に走行している時でした。走行しているうちに、段々と眠気が襲って来ました。初めの頃は、エアコンを切ったり、左右の窓を半分くらい開けて、眠気を覚ましていました。トンネル内に避難スペースがあり、休息を取ろうと考えましたが、もう少し広めのスペースがある待避所まで走行して休息しようと考え、車を走行させていました。あと5分くらい走行すれば、広い待避所に着くと思い、安心して気を緩めた瞬間、目をつぶってしまいました。その時に、「ドン」という物音に気付き、時間にしては10秒くらい目をつぶった間隔でした。ハッとして目を開けると、自車が赤信号で進行しているのに気付きました。一瞬にして、人を撥ねてしまった恐怖心からパニック状態になり、日中の明るい時間帯で、多数の目撃者がいたにも係わらず、救護もせずにその場から逃げてしまいました。



イラストは本文とは関係ありません

荷物を積んでいる間も、被害者の方はどうなのかと気にしつつも、いつ逮捕されるのだろうと思いながら生活をしていました。車庫へ戻った後も、人を撥ねてしまったと言わず、積み地のパレットにぶつけましたと嘘をつき、正直に言えませんでした。

事故から4日後、警察の方が事情を聞きたいと数名来て、警察で取調べを受け、逮捕となりました。公判では自動車運転過失致死及び道路交通法違反で、懲役4年の判決が下りました。

事故後、謝罪に行けなかったので、母親と会社の責任者が被害者ご遺族のもとへ謝罪に行った事を聞き、とんでもない事をしてしまったと気付きました。また、賠償金については、母親を通して会社へ確認していますが、結果を得られない状況です。

私の起こした事故で、一瞬にして尊い命を奪ってしまいました。その事故で、被害者や被害者ご遺族はもちろん、私の母親や職場の同僚の方々に多大な迷惑を掛け、償つても償いきれないほどの苦しみを与えてしまいました。私の一瞬の気の緩みで起きました事で、沢山の人の幸せを奪ってしまいました。この幸せは、一生掛かっても返しきれないものだと思っています。

受刑生活も3年を過ぎようとしています。これから、刑の終了する日まで、被害者や被害者ご遺族に対して、どのような償いをして行くかを考え、謝罪をして行こうと思います。幸せは、お金が解決してくれません。お金だけでなく、被害者の方を忘れることなく、私の犯した罪にしっかりと向き合い、背負って生きて行きます。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第53集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 日産自動車(株)相模原部品センター 相模原市南区麻溝台
- 大洋石油(株) 横浜市西区北幸
- (株)横浜銀行本店経営管理部 横浜市西区みなとみらい

この人 159



井上政市さん
いのうえまさいち
会長
相模原交通安全協会
いのうえまさいち
まざいち



こんにちは 「秦野市交通安全協会」です

秦野市交通安全協会も今年で70年を迎えることができました。前回この欄に投稿した際は、秦野市の風光明媚な面等について紹介いたしましたが、今回は、当協会が独自に取り組んでいることの一つを紹介致します。

それは、国道246号・新町交差点の南西側に建てられている「交通事故犠牲者慰霊碑」についてです。

交通事故犠牲者に対する慰霊祭は、今年で51回目になりますが、この地に慰霊碑が建立されたのが昭和54年9月でございます。

そのため毎年9月中旬に、市長や警察署長を招き、協会役員等と慰霊碑の前で「秦野市内の交通事故死亡者の

今回は、昨年創立70周年を迎えた相模原交通安全協会の井上政市会長です。

相模原交通安全協会は、終戦から4年後の昭和23年4月に、交通事情の悪化と免許所有者の増加等から交通道徳の機運が高まったことを受け、相模原自家用自動車組合と相模原自動車運転者協会が合併し、会員295人により発足し、昨年創立70周年を迎えました。

相模原市の人団増とともに、昭和49年の相模原南警察署の新設及び平成18年の相模原北警察署の新設に伴い、それぞれの協会を分離設置され、その後、相模原市が平成22年の政令指定都市への移行による、緑区、中央区、南区の3行政区域の誕生に伴い、中央区を所管することとなりました。

この間の社会情勢は、高度成長期の「交通戦争」と比喩される時代を経て、高齢化社会と変遷してまいりますが、その時代時代での問題と向き合いながら、終始、交通事故のない安全で安心な住みよい相模原の実現を目指して活動しています。

井上会長の交通安全活動は、昭和53年

に登下校児童への交通安全活動が出発点となり、支部代議員、交通指導員、支部長を経て理事、副会長を歴任し、平成21年に第8代会長に就任しました。

副会長の時は会計を担当し、会長就任後は相模原警察署、相模原市中央区、安全運転管理者会や交通安全母の会などの交通関係団体等と積極的に交流し、交通安全協会の存在をアピールしています。

現在、会長は相模原市で多発する自転車事故と高齢者事故の防止、飲酒運転の根絶を最重要課題と捉え関係機関と連携し活動を強化しています。

最後に井上会長は、「今後も、相模原から交通事故をなくすために、関係機関のご指導を賜りながら役職員、会員一同、心をひとつにして「運転者に対する広報活動」、「自転車のマナーアップ活動」、「学童の見守り活動」等、地道に啓発活動を続け、相模原交通安全協会の歴史を積み上げてまいります。」と話しています。

(取材協力：相模原交通安全協会)

ご冥福をお祈りする慰霊祭を実施しております。

昨年迄で309柱の御靈が祀られました。

こうした中で、450日間死亡事故0が秦野警察署の記録でしたが、毎年このような交通事故犠牲者に対する慰霊を行っているためか、一昨年は、死亡事故の無い日を653日記録することができました。

さて、この慰霊碑の敷地内には「六道普濟地蔵尊」が祀られています。

ここで六道の世界について少し説明いたします。仏教の世界では、すべての生き物が終生を迎えた時に6つの世界（六道の世界）に生まれ変わりを果たすと考えられています。

六道の世界とは、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上を指し、現世での行いによってどこに生まれ変わるかが決まるそ



うです。これを輪廻転生と言います。六道の世界にはそれぞれのお地蔵さんがいて、その世界に来た者を救済してくれるとのこと。ありがたい存在です。

皆さんのお住まいの近くにお地蔵さんがいれば、これを機に、より良い世界に転生できるよう、普段の行動を振り返って見てはいかがでしょうか。

(菅家 記)

地区交通安全協会の活動紹介



南 大岡小学校での交通安全教室



相模原北 橋本駅前での自転車マナーアップキャンペーン



幸 ハッピーロードでの交通安全キャンペーン



津久井 城山地区での交通安全キャンペーン



大船 大船まつりでの交通安全キャンペーン

～春の全国交通安全運動・自転車マナーアップ運動～



厚木警察署管内 厚木市子ども科学館での自転車安全教室



横須賀 ソレイユの丘での交通安全キャンペーン



金沢 金沢区自転車マナーアップ三世代大会



保土ヶ谷 保土ヶ谷駅前での交通安全キャンペーン



相模原 警察署前での交通事故防止キャンペーン

インフォメーション

- 第50回交通安全こども自転車神奈川県大会及び
第8回交通安全高齢者自転車神奈川県大会 7月 6日(土) 横浜文化体育館
- 夏の交通事故防止運動 7月11日(木)~20日(土) 各地区
- 二輪車安全運転講習 7月13日(土) 運転免許センター
- グッドライダーミーティング 7月15日(月) 厚木中央自動車学校
- 表彰審査委員会 7月19日(金) 県安協会館